

鉢植えでの育て方（参考）

剪定	・ 苗木が希望の大きさになるまでは、樹形を整える程度の剪定を行ってください。（年1～2回程度） ・ ある程度育ってきたら、年に1回、冬季落葉中に剪定し、大きさを維持してください。
水やり	・ 春～秋は鉢の表土が白っぽく乾いてきたタイミングで水やりをしてください。 ・ 水を好むため、夏の高温期にすぐ乾いてしまうようであれば朝夕の2回水やりをしてください。 ・ 冬でも乾燥しすぎないように3～4日程度に1回水やりをしてください。 ・ 1回の水やりの量は、鉢底から勢いよく水が流れ出るくらいたっぷりとやることが重要です。毎日少量の水をやるだけでは、根腐れの原因となるほか、植物全体に水が行き渡らない状態となってしまうです。
肥料	・ 置き肥の場合…芽吹き前に固形の有機質肥料や緩効性化成肥料を土の上に置いてください。 ・ 用土に配合する場合…植え替えの用土に有機質肥料や緩効性化成肥料を混ぜてください。 ※有機質肥料…油粕や骨粉など ※植物は光合成によって成長するための養分を生産できるので、肥料は補助的なものと考え多用しないよう注意してください。
容器の大きさ	・ 管理作業を考慮し、自身で持ち上げたり運んだりできる大きさ、重さにしてください。 ・ 鉢の中の根がいっぱいになってしまったら、冬季落葉中にひとまわり大きな鉢に植え替えるとよい。 ・ それ以上大きくしたくない場合は、根を切って小さくし、同じサイズの鉢に植えなおしてください。 ・ 根を切った場合は地上部も剪定して小さくしてください。
置き場所	・ 日当たりがよく風通しの良い場所で管理してください。 ・ 真夏の日差しで葉焼けしたり、葉の色がかすれたりする場合は、遮光するか明るい日陰で管理してください。
その他	鉢植えを直接地面に置いていると、鉢底から伸びた根が地面に張ってしまいます。時々鉢を動かすか、ブロックなどの上に鉢を置くなどしてください。